区分	臨床・専門基礎分野	授業科目名	生理学	単位数	1単位
対象学年	3年生	開講時期	前・後期・(通年)	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	井上　靖久	実務経験	有・(無)	実務経験内容	

授業の目的・目標

身体を全体として把握し、機能を理解することが生理学である。3年生では、神経総論、中枢神経である脳（大脳・間脳・中脳・橋・延髄および小脳）と脊髄、末梢神経である脳神経および脊髄神経ついて学ぶ。さらに感覚器として、視覚・聴覚・嗅覚・味覚器及び体性感覚器について学ぶ。さらに運動器を維持する神経伝導路・骨・筋の生理学について学ぶことを目的とする。

成績評価の方法

筆頭試験

授業の概要・授業方針

この講義は単に生理学の知識を得ることは重要ではなく、人体におこる生命現象を真に論理的に理解しようとする姿勢を身に着けることである。正常な生命活動は細胞個々にも全体としても、正常に機能して初めて維持できることを重要視する。

テキスト・参考資料等

臨床検査学講座　生理学（医歯薬出版）

授業計画	講師
1　神経総論	井上靖久
2　神経細胞の特徴	井上靖久
3　脳と脊髄総論	井上靖久
4　大脳皮質	井上靖久
5　脳幹	井上靖久
6　脊髄の部位特異性	井上靖久
7　神経の伝導路	井上靖久
8　脳神経	井上靖久
9　脊髄神経と反射	井上靖久
10　視覚器と視覚中枢	井上靖久
11　聴覚器と聴覚中枢	井上靖久
12　自律神経と調節	井上靖久
13　運動神経と筋支配	井上靖久
14　筋肉の構造と機能	井上靖久
15　まとめ	井上靖久